



T/H/I/R/S/T



KOIKE TOMIZIN



その果物は
一度食べると
一生渴きを
感じないという

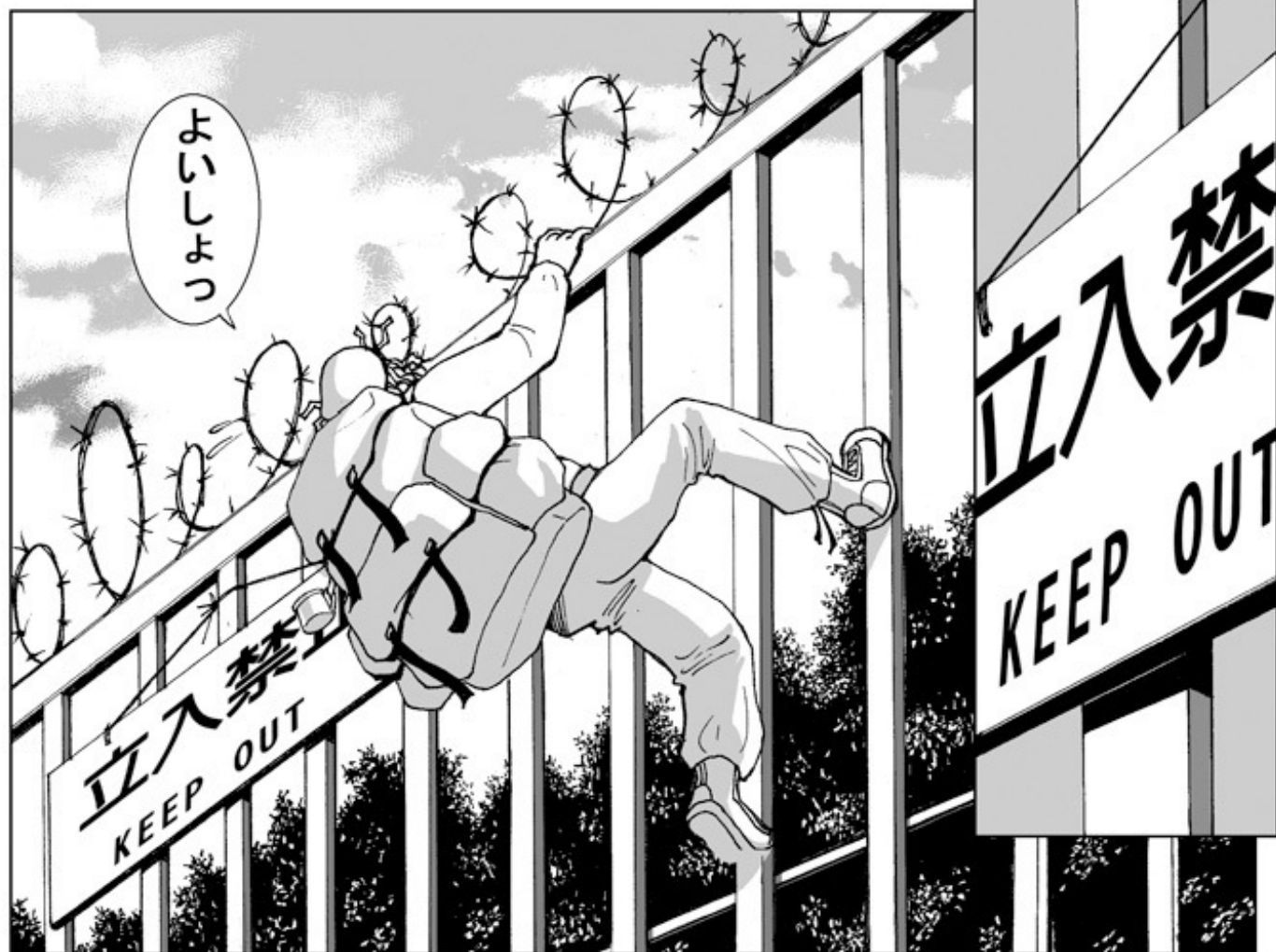
まるで伝説の中の
幻のような
果物だと言われる

何年かに一度だけ
幸運な人間に発見される

そして
発見した人は
大金持ちに
なれるそうだ

次に
その幻の果物を手に入れる
ラッキーな人間は
俺だ！





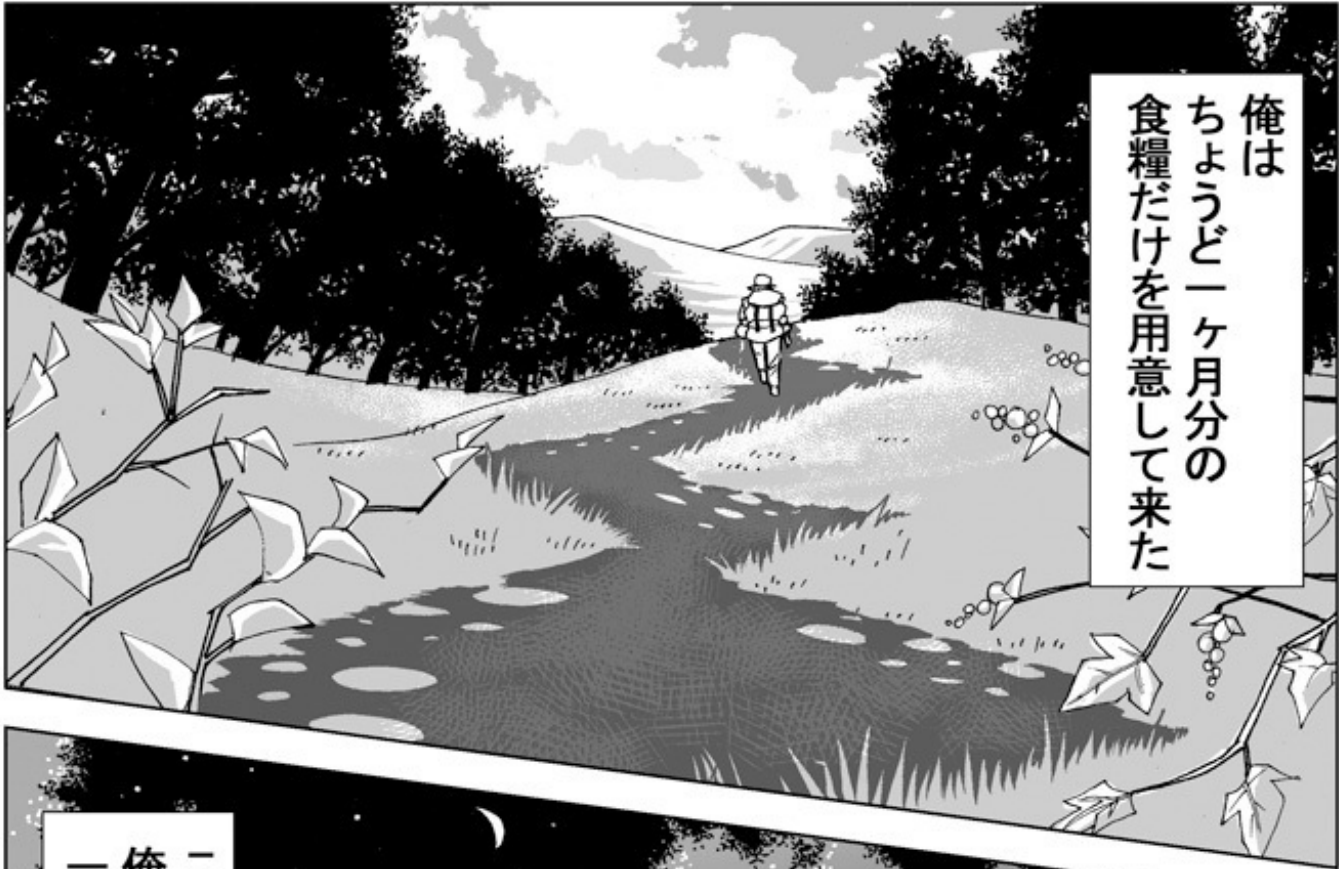
よいしょっ

立入禁止
KEEP OUT




でも
その果物がある森には
変な力があるらしくて

森に入って
帰って来なかった人間も
相当いるらしい



俺は
ちようど一ヶ月分の
食糧だけを用意して来た



その一週間目

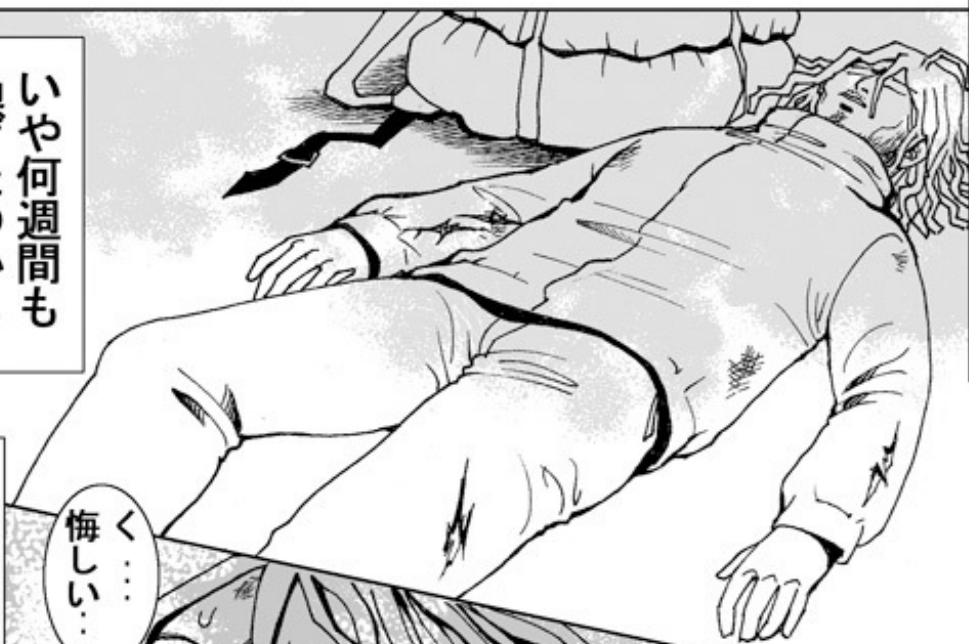
これが
俺の人生を決める
一ヶ月になる！

うわっ！



この場から
動けなくなつて
何日も過ぎた

いや何週間も
過ぎたのかも
しれない



く……
悔しい……

時間の感覚が
段々失われていくようだ

おいバカ
ちゃんとしろ
それで出来てる
つもりか

おまえぐらい
役立たずは
逆に珍しいな
この給料泥棒死ね


今度こそ……

今度こそ!!
自分の存在価値を
証明するんだ

幻の果物を
手に入れて!

中身の空っぽな
チャライ男だね
さよなら






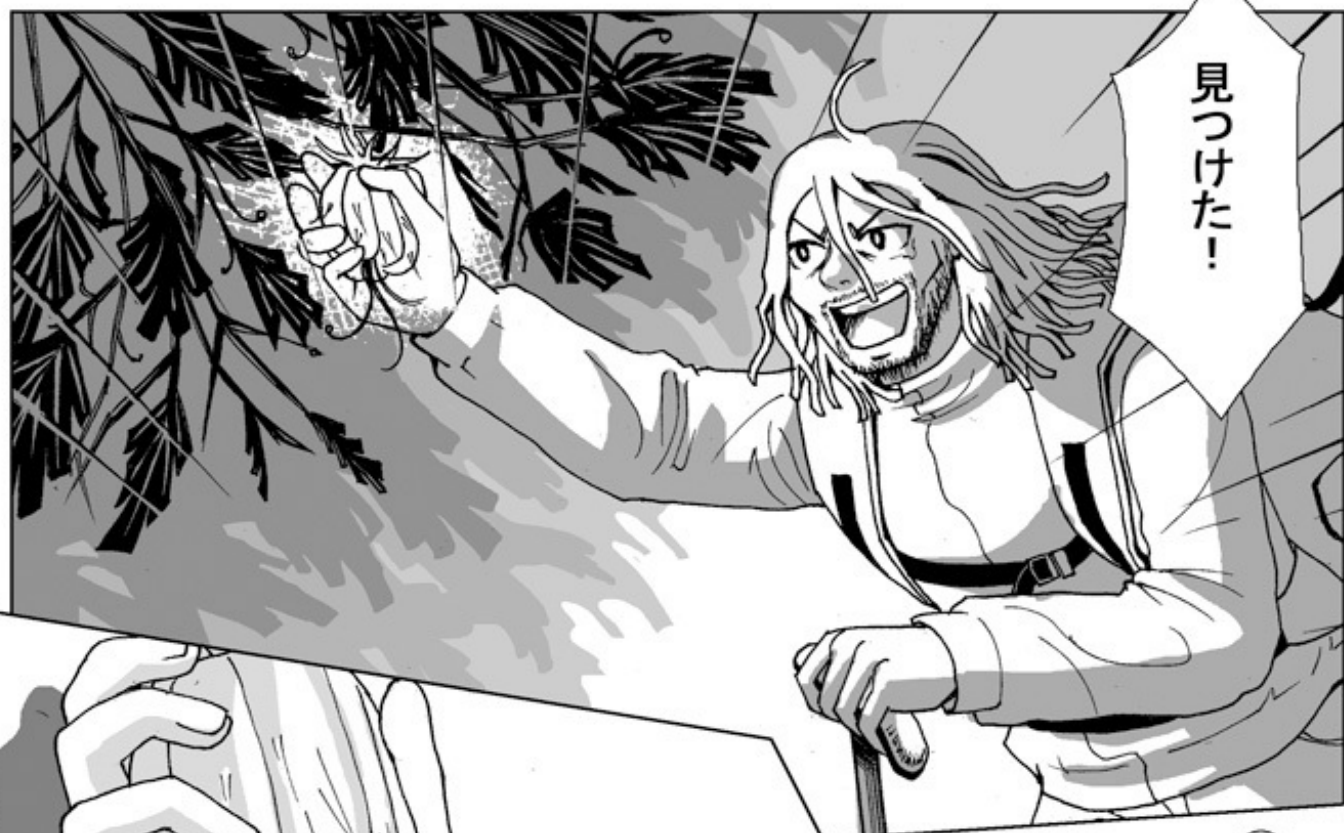
それから
また何週間も

俺は果物を求めて
森を彷徨い歩いた

そして
食糧も尽きかけて
弱気になったその時



あっ！



見つけた！



う…

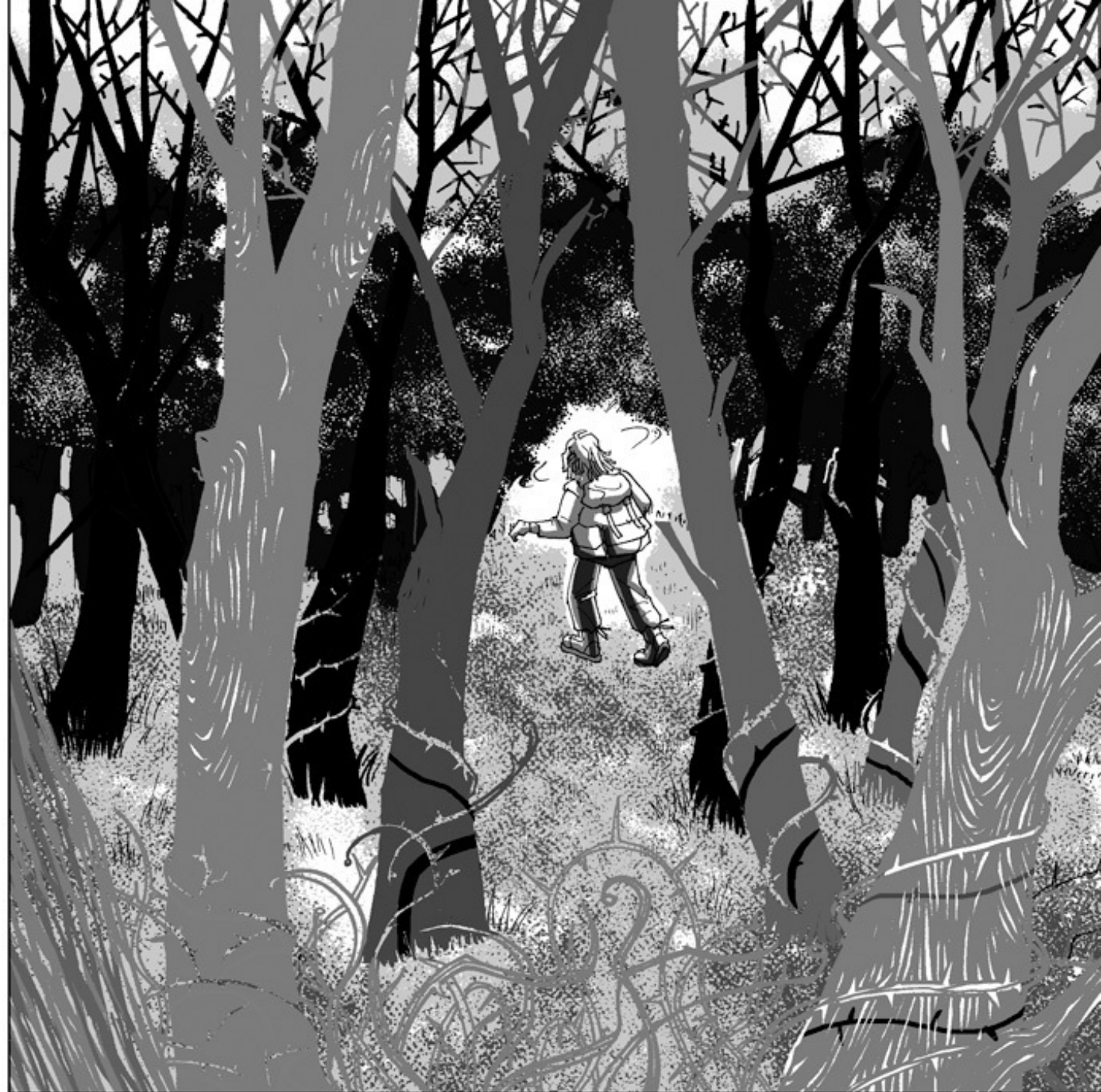
こ…
これで
やっと…

良かった



森を出たら

新しい人生が
待ってる！



どろろ……
どろろ……
どろろ……
どろろ……
どろろ……
どろろ……
どろろ……
どろろ……
どろろ……
どろろ……

降りたと思ったら
また登り道

羅針盤も
きかない



ついに迷子に
なってしまった

食べ物とはつくに
なくなった

湧き水も
見つからない



この森の
不思議な力に
囚われてしまった

これじゃ
森を出る前に
死んでしまう





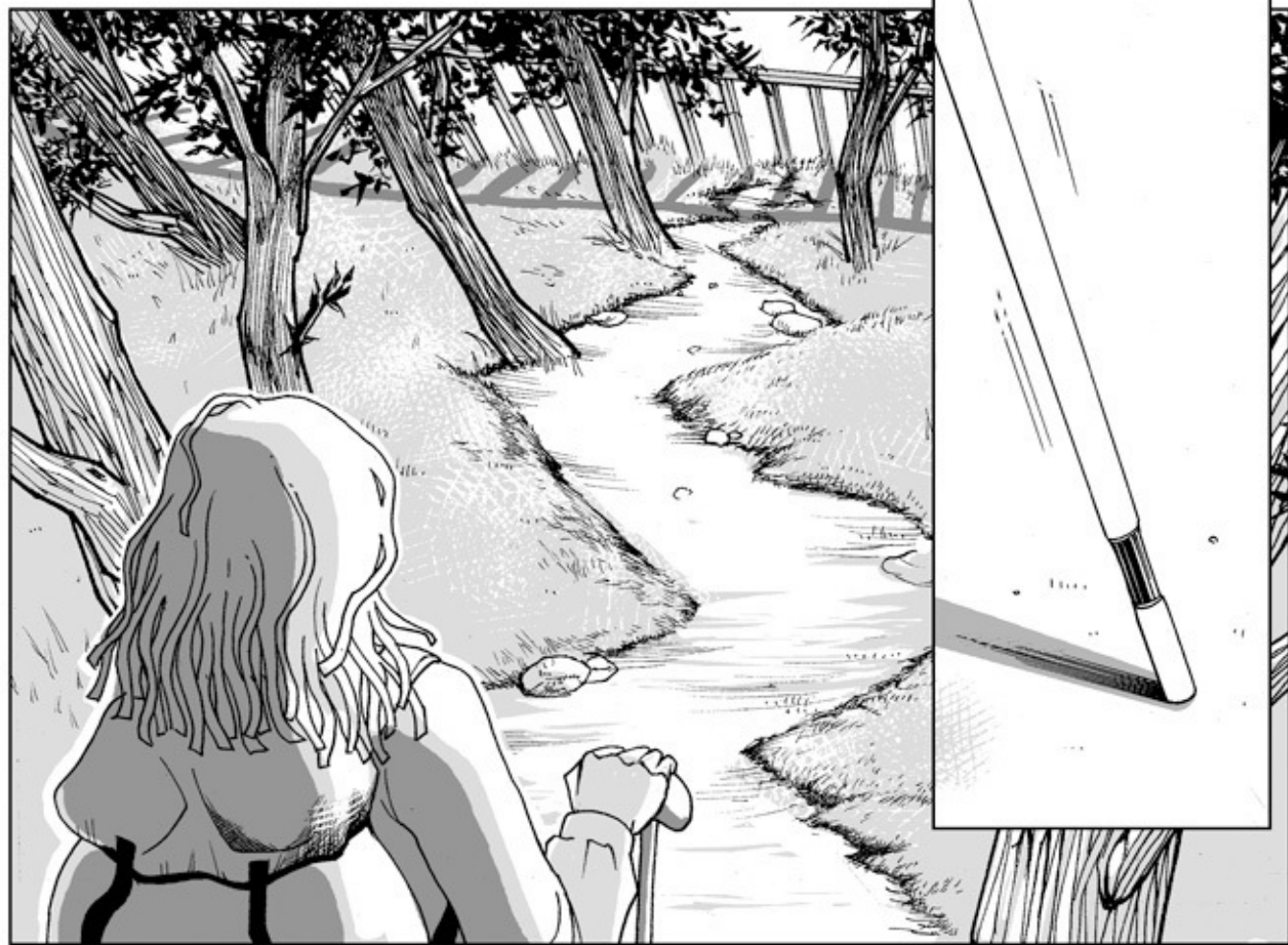
俺は何をしに
ここまで来たんだ

何の味もしない
果実だ

ただ
渴きだけが
おさまった

星が
キレイだ
…





俺が味わったのは
一体何だったんだらう？

あの果物は本当に
幻だったのかも知れないが……

俺はまだ
渴きを感じる